

中日経済用語における新語の翻訳に関する一考察

銭 紅 日

0. 前言

今日、貿易・投資の加速的な自由化、情報・通信技術の急速な進展、企業活動の活発、且つ、国際的な展開が拡大・深化し、地球規模での経済の一体化が進行している。中国において、このような経済のグローバル化と情報化の進歩に伴い、“分期付款”「分割払い」、 “控股公司”「持ち株会社」、 “搭车涨价”「便乗値上げ」、 “三农问题”「農業・農村・農民問題」、 “走穴”「副業で稼ぐ」などのような新語が、次々と生まれてくる。本稿では、中日経済用語における新語の翻訳を中心に、経済用語に関する新語、日本語に訳す場合にカタカナになるもの、同じ漢文字でも中日それぞれ異なる表現をするもの、さらに混種語で表現するもの、新語における翻訳時の注意点を絞って、考察してみたいと思う。

1. 経済用語に関する新語

日常の新聞やテレビなどによく出てくる使用率の高い新語である。中国語の文を訳す場合は、その意味を簡単に理解することができる。

(1) 分期付款：分割払い

例：在中国的大城市里都实行了分期付款购买住房的做法。/中国の大都会ではローンで住宅購入する方法が行われている。

(2) 搭车涨价：便乗値上げ

例：出现了借能源价格调整之机搭车涨价的趋势。/エネルギー価格を調整するさいに便乗値上げする状況が生まれる。

(3) 借壳上市：買収による間接上場

例：所谓“借壳上市”、就是没有上市的企业通过向上市企业注入主要资产形成子公司而实现间接上市。/「買収による間接上場」というのは、上場していない企業が上場している企業に主要な資金を注入することによって子会社化し、それによって間接的に上場を実現することである。

(4) 营销策划：販売営業企画

例：随着竞争的日趋激烈、许多企业开始重视营销策划。/競争が日増しに激化するに従い、多くの企業が販売営業企画を重視するようになった。

(5) 三农问题：農業・農村・農民の問題

例：“振兴农业、发展农村经济、增加农民收入和减轻农民负担”这三个问题就称作三农问题。/「農業の振興・農村の経済成長・農民の所得増と負担減」この三つが三農問題とよばれている。

(6) 挂靠单位：名義上の親会社

例：许多集体所有制企业都有自己的挂靠单位。/多くの集団所有制企業は、それぞれ名義上の親会社をもっている。

(7) 出口创汇：輸出による外貨獲得

例：大连〇〇公司去年的销售额、出口创汇等主要经济指标、都已达到历史最高水平。/大連〇〇会社の昨年の売上額や、輸出による外貨獲得などの主要な経済指標はすべて史上最高のレベルに達した。

(8) 岗位责任制：持ち場責任制

例：电视机厂在实行岗位责任制过程中、按劳动强度、劳动环境、技术难度和责任大小等设置岗级。/持ち場責任制を実施する際、テレビ製作工場は労働の度合い、労働環境、技術の難易度や責任の程度によって持ち場等級を決める。

(9) 外引内联：国外の資金と国内の資金との結合

例：外引内联开发资源、大大加快了我市旅游业的发展步伐。/国外の資金と国内の資金との結合による資源開発は、わが市の観光産業の発展を促進した。

(10) 扭亏增盈：欠損を挽回し、利潤を増加させる

例：〇〇区服务公司发扬行业优势、扭亏增盈。/〇〇区サービス業会社は、種々の強みを發揮し、欠損を挽回し、利潤を増加させた。

(11) 走穴：副業で稼ぐ

例：这本来是过去演艺界圈子里的用语、拥有演艺技能的人或团队到各地巡回（“走”）演出、出卖他们演技的商业行为（“穴”）。现在已不仅限于演艺圈子、泛指各行业的人利用本职以外的时间去赚钱的现象。/これは元々昔の芸能人の業界用語で、芸を持っている人が一人或いはグループで各地方を転々と回り（「走」）、その芸を売る商売（「穴」）のことである。現在は芸能人に限らず、各分野の人が本職以外の時間を利用して金儲けをする現象に広く使われている。

2. カタカナに訳される新語

次のような新語を日本語に訳すと、すべてカタカナになるものであり、日本語においても外来語である。例えば、“降低成本”「コストダウン」、「合作伙伴」「パートナー」、「倒计时」「カウントダウン」、「独家新闻」「スクープ」、「数据库」「データバンク」、「外包」「アウトソーシング」などである。もちろん和製英語もあるので、翻訳にはそれぞれ平素の積み重ねが必要とされる。

(12) 降低成本：コストダウン

例：在努力扩大出口的同时、要眼睛向内、在挖掘潜力、降低成本、提高效率上下功夫。/輸出拡大に努力すると共に、内部にも目を向け、潜在力の掘り起こし、コストダウン、効率向上に努力すべきだ。

(13) 售后服务：アフターサービス

例：“售后服务”是日式语、是指生产厂家或销售公司、在出售商品后也保证其商品的质量或根据检修所需为客户服务。/「アフターサービス」は和製語で、製造業者や販売業者が、商品を売った後も、その商品の品質を保証したり、点検や修理の相談に応じたりして客に奉仕することである。

(14) 叫醒服务：モーニングコール

例：“叫醒服务”是指在酒店、宾馆、早晨指定的时间为叫醒客人所打的电话。还指这种服务。/ホテルなどで、朝の指定された時刻に客を起こすために電話をかけることであり、またそのサービスのことを言う。

(15) 市场份额：シェア

例：这个公司的市场份额已上升到17%。/市場でのこの会社のシェアは17%に伸びている。

(16) 商机：ビジネスチャンス

例：如果你想抓住商机、就请订阅该杂志。/ビジネスチャンスをつかみになりたいなら、ぜひこの雑誌をご購読ください。

(17) 龙头：リーダーシップ

例：所谓“龙头”是指一个领导人的素质、能力、力量。但也指一个新事业的首创地位。/リーダーシップというのは、指導者としての資質・能力・力を言うのだが、新事業などの創始にも使う。

(18) 传播媒介：マスメディア

例：将报纸、出版、广播、电影等大众媒体称之为传播媒介。/新聞・出版・放送・映画など、大衆媒体のことをマスメディアと言う。

(19) 代沟：ゼネレーションギャップ

例：现在、年齢稍有差距就会让人强烈地感觉到有代沟。/現代社会では、歳がちょっと離れているだけでも、ゼネレーションギャップを強く感じさせる。

(20) 数码相机：デジカメ

例：数码相机不用胶卷而是用CCD将影像变成数据信号、存在存储器里。/デジカメは、フィルム代わりにCCDを用いて画像をデジタル信号に変換し、記憶装置に記録する。

(21) 排行榜：ランキング

例：“排行榜”是介绍电视收视率、美食家、CD、书籍等畅销商品的排行网站。/ランキングはテレビ視聴率、グルメ、CD、本などの売れ筋商品を紹介するランキングサイトである。

(22) 虚拟现实：パーチャルリアリティ

例：通过电脑的影像、声音等创造出一种人工环境、就好像在现实中的感觉、这种感觉就称其为虚拟现实。/コンピューターによる画像・音声などが人工的環境を作り出し、あたかも現実であるかのように感じさせることをパーチャルリアリティと言う。

(23) 外包：アウトソーシング

例：所謂“外包”，是指业务的向外委托、将业务的一部分、尤其是将信息系统的开发、运用、维护等业务都委托给外部企业。/アウトソーシングというのは、業務の外部委託、業務の一部、特に情報システムの開発・運用・保守などを外部の企業に委託することである。

(24) 黑客：ハッカー

例：信息安全对策推进室、是为确保电子政府的信息安全、应对黑客等而存在的。/情報セキュリティ対策推進室は、電子政府の情報セキュリティの確保、ハッカー対策などのために存在する。

(25) 主页：ホームページ

例：已进入信息化时代的现今、无须说大学、甚至小学都拥有各自的主页。/情報化時代に入った現在では、大学は言うまでもなく、小学校も各自のホームページを持っている。

(26) 网上购物：オンラインショッピング

例：网上购物、尤其受到忙碌人的欢迎。/オンラインショッピングは、特に忙しい人に歓迎されている。

(27) 电子邮件：イーメール（Eメール）

例：对于相互远隔在异地的人们来说、再也没有比电子邮件更可贵的了。/お互いに遠く離れている人たちにとって、Eメールほどありがたいものはない。

(28) 自助游：オプション・ツアー

例：如今海滨度假区吃住都很方便、所以个性化的自助游方式越来越受到年轻人喜爱。/現在海辺のレジャー地区は宿泊、食事とも大変便利になったので、個性的なオプション・ツアーがますます若者の人気を呼んでいる。

(29) 吉祥物：マスコット

例：从市营地铁福岡机场站到球赛场的大道和机场大道处、大约5公里的道路两侧树立了约300个旗帜、旗帜上印有队伍的名称和吉祥物。/市営地下鉄福岡空港駅から球技場までの大通りや、空港通りなどおよそ5キロの道沿いに約300本ののぼりがたてられている。のぼりにはチーム名やマスコットが描かれている。

(30) 有氧运动：エアロビクス

例：通过向体内吸进大量氧气、提高心脏及肺部功能、增进健康的运动方式称作有氧运动。/体内に酸素を大量に取り入れることによって、心臓や肺の機能を高め、健康を増進させる運動法の総称をエアロビクスと言う。

(31) 纳米技术：ナノテクノロジー

例：以纳米技术、新型原材料及IT技术相关的工商业者作为主要承租人、进行招租。/ナノテクノロジーや新素材、ITに関連する業者を中心にテナントを募集する。

(32) 物业管理：ビルメンテナンス

例：对物业进行综合性的管理、或者承包这种业务的服务公司就称之为物业管理。/ビルの総合的管理、またはそれを請け負うサービス会社をビルメンテナンスと言う。

(33) 风险投资企业：ベンチャービジネス

例：以新技术和高端知识为中心、开展在大企业难以实施的具有创造性和革新性经营的小企业、被称为风险投资企业。/新技術や高度な知識を軸に、大企業では実施しにくい創造的・革新的な経営を展開する小企業のことをベンチャービジネスと言う。

(34) 软着陆：ソフトランディング

例：所谓“软着陆”、就是指不使过热的经济景气导致经济急剧衰退、而转向稳定增长的经济政策。而且还指产业结构转换的稳妥推进。/ソフトランディングとは加熱状態の景気を、急激な景気後退を招くことなく、安定成長に移行させる経済政策を言う。また産業構造の転換などを円滑に進めることにも言う。

3. 同じ漢字でも中日で異なる新語

次に挙げる例は中日両方とも漢字で表現する新語だが、それぞれ違う漢字で組み合わせられているのである。例えば、“贸易逆差”「入超」、「贸易顺差」「出超」、「跨国企业」「多国籍企業」、「传统企业」「在来企業」、「股市行情」「株式市況」、「发展中国家」「発展途上国」、「招标投标制」「入札制」などがあり、訳す場合、単純に漢字をそのまま使うのを避けるべきである。

(35) 贸易逆差：入超

例：去年的对外贸易逆差为〇〇亿美元。/今年度の対外貿易は〇〇億ドルの入超であった。

(36) 贸易顺差：出超

例：今年上半年的对外贸易是顺差。/今年上半期の対外貿易は出超になっている。

(37) 传统产业：在来産業

例：要大力发展高科技产业、用先进技术改造传统产业。/ハイテク産業の発展に大いに力をいれ、先進的な技術で在来産業を改造しなければならない。

(38) 股市行情：株式市況

例：〇〇证券交易所开发出卫星股市行情传播系统。/〇〇証券取引所は、通信衛星による株式市況伝達システムを開発した。

(39) 跨国公司：多国籍企業

例：〇〇企业股份有限公司、通过合作的方式先后在北京、上海、大连等地办了11家企业、还设立了跨国公司。/〇〇株式会社は、合弁の形で、北京、上海、大連等で相次いで11の企業を作り、さらに多国籍企業をも設立した。

(40) 票房价值：興行成績（芝居や映画の切符の売れ行き）

例：谈论一部电影的好坏、不仅要看票房价值、还要看其社会效果。/映画のよしあしを論ずるには、興行成績だけではなく、社会的な効果も見なければならない。

(41) 论资排辈：年功序列

例：近几年、许多企业单位改革了论资排辈的人事制度、使一大批年轻有为的青年走上领导岗位。/ここ数年、多くの企業において年功序列型人事制度の改革がなされ、多くの前途有為な青年たちが指導的地位についた。

(42) 住房公积金：住宅共同積立金

例：把国家机关、国有企业、城乡集体企业、外资投资企业、城乡私有企业以及其他城乡集体企业、事业单位和其职工缴纳的长期住宅存款、称作住房公积金。/国家機関、国有企業、都市と農村の集団企業、外資投資企業、都市と町の私営企業、その他の都市と町の企業、事業単位及びそこに在職している職員たちが納める長期の住宅貯金のことを住宅共同積立金という。

(43) 法律援助：訴訟経費援助

例：“法律援助”是指国家为因经济贫困不能支付诉讼费用的当事者、或为特殊审判事件的当事者减免费用或提供经费支助。/訴訟経費援助というのは、国家が経済貧困で訴訟費用を支払う力がない当事者、或いは特殊な裁判事件の当事者のために費用を減免したり、経費援助を提供したりすることである。

(44) 信息产业：情報産業

例：所谓信息产业、是指从事收集、加工、处理、检索、提供信息的产业。广义上是指大众传媒产业、狭义上是指电脑相关产业。/情報産業というのは、情報の収集・加工・処理・検索・提供などの業務に直接関連する産業だが、広義にはマスコミ産業など、狭義にはコンピューター関連産業のことを言う。

(45) 引进外资：外資導入

例：随着大连投资环境的不断完善、引进外资的环境大大好转。/大連の投資環境が不斷に完備されるとともに、外資導入の環境が大幅に改善された。

(46) 控股公司：持ち株会社

例：所谓控股公司是指拥有一个公司的全部或大部分的股份、并能支配其公司。/持ち株会社とは、ある会社の株式の全部または大部分を有して、その会社を支配することを言う。

(47) 多轨运行：多角経営

例：最近、我市乡镇企业出现了“多轮驱动、多轨运行”的竞相发展态势。/最近、わが市の郷鎮企業に『多車輪駆動、他軌道運行』の両者が並行発展する情勢が生まれた。

(48) 招投标制：入札制

例：“招投标制”是指在项目建设中的调查、设计、施工、监理以及项目建设相关的重要设施、材料等的购置、只要符合国家的规定和金额标准就必须进行招投标的项目管理制度。/入札制というのは、プロジェクト建設における調査、設計、施工、監理及びプロジェクト建設にかかわる重要な設備、材料などの購入において、必ず国の規定と金額基準に合わせて入札させることを義務付けたプロジェクト管理制度のことである。

4. 漢文字+カタカナに訳される新語

次に挙げる例は日本語に訳す場合、単純なカタカナでもなく、単純な漢文字でもない。漢文字とカタカナ両方で構成された単語すなわち混種語になる。例えば、“反倾销”「反ダンピング」、
“点子产品”「アイデア製品」、
“酬宾销售”「謝恩セール」、
“网恋”「チャット恋愛」などである。

(49) 网恋：チャット恋愛

例：大多數の男性ネットワークユーザー、都希望尋求女性用戶聊天。因此、有的甚至發展成了網戀。/大多數の男性インターネットユーザーは、女性ユーザーを探してチャットしたがる。ここからチャット恋愛にまで発展したケースもある。

(50) 绿色食品：グリーン食品

例：雜豆以及小米、大多數都在山區或窮山僻壤生產、其大多數都沒有使用化肥或農藥、所以被宣傳為綠色食品、比大米還貴。/各種の豆や粟の多くは、山間地域で生産され、大部分は化学肥料や農薬があまり使われていないので、グリーン食品と宣伝され、米よりも高く売られている。

(51) 签售：サイン即売会

例：在出售新書或唱片時、作者或歌手在現場邊簽字邊銷售就稱之為簽售。/新しい本やレコードが発売される時、作者や歌手が現場でサインしながら販売することをサイン即売会と言う。

(52) 经济全球化：經濟グローバル化

例：科學技術革命與生產國際化的不斷推進、各國經濟的相互依存、相互滲透日益加深、阻礙商品、勞動力以及資本等在全世界範圍內自由流通的各種屏障迅速削弱、在全世界範圍內的經濟融合越來越加強、這種情況就稱之為經濟全球化。/科學技術の革新と生産の国際化が推進され、各國經濟の相互依存、相互浸透が日増しに深まり、商品や労働力、資本などが全世界を自由に動くことを妨げる各種の障壁がどんどん削られて弱まり、世界的範囲で經濟の融合が強まることを經濟グローバル化と言う。

(53) 高新技术产业：ハイテク産業

例：以高端技術為基礎的電子工學、高新機械技術、生物工藝學、新原材料等產業、就稱之為高新技術產業。其產品為高新技術產品。/高度な先進技術に基づくエレクトロニクス、メカトロニクス、バイオテクノロジー、新素材などの産業のことをハイテク産業という。その製品はハイテク製品という。

(54) 点子产品：アイデア製品

例：有一些產品若與新的創意結合、可獲奇特的功能、人們把這稱之為“點子產品”。/一部の製品は、もし新しいアイデアと結びつけば、他には見られない珍しい機能を持つことができる。人々はこれを「アイデア製品」と呼ぶ。

(55) 反倾销：反ダンピング

例：在出口快速增长中、鞋类是受各国反倾销起诉最多的商品。/輸出が急速に伸びる中で、靴類は各国から反ダンピングに触れるとして最も多く提訴される商品である。

(56) 待建項目：建設待ちのプロジェクト

例：为控制固定资产投资过大、市政府从明年4月起停止审批待建项目。/過度の固定資産投資を抑制するため、来年の4月から、市政府は建設待ちのプロジェクトの審査、批准を停止する。

(57) 唐装：チャイナ服

例：自古以来中国女性传统服装中有“旗袍”、而男人却没有民族色彩很浓的服装。可突然出现了“唐装”这种中式服装。/昔からの中国女性の伝統的な服に“旗袍”(チャイナドレス)があるが、男性の民族衣装はなかった。ところが、“唐装”という男性用チャイナ服が突然現れた。

(58) 中国硅谷：中国シリコンバレー

例：中关村之所以被选为中国硅谷、原因之一是那里为以北京大学、清华大学为首的诸多大学和研究机构的所在地。/中关村が中国シリコンバレーに選ばれた理由は、ここが北京大学や清華大学を初め、多くの大学と研究機関の所在地であることが挙げられる。

5. 新語における翻訳時の注意点

上記以外に、中日新語における翻訳時の注意点は多々ある。例えば、シェークスピアの中国語の定訳は“莎士比亚”である。しかし、しばしば新聞や雑誌などには“莎翁”という言い方をも見かける。この言い方も中国人に親しい感じを与え、愛用され、定訳になっているようである。また、日本でも、例えば、「ゴルバチョフ氏」のことを「ゴ氏」という言い方が新聞などで使用されているのをみたことがある。これらは皆名前を略した言い方であって、別に指摘するつもりもないが、しかし、こうしたことは一定の外国人に限ったことで、日本人の名前について、略したりすることはできないのであろう。例えば、川端康成のことを「川氏」と略したり、田中さんのことを「田」と略すか、或いは中国人が相手の姓の前によく「小」をつけて呼ぶやり方で、“小田”と略して呼ぶのは失礼であり、やはりおかしいのであろう。中国人の間では親しみを込めて、“小…”“老…”或いは“大…”“…老”などの言い方を使い、親しさや尊敬の念を込めて、“小陈”“老陈”など、お互いに呼び合っているが、日本人にはやはり使えない。欧米人の名前などは中国語や日本語に直すと、長くなるためか、かえって、略しやすいという面があるのは確かである。例えば、イギリスのサッカー選手「ベッカム」は、中国語では“小贝”と親しみをこめて呼ばれているし、また、韓国の男優「ペヨンジュン」も日本では名前が略されて、「ヨン様」となっている。しかし、日本人の姓には、中国人の略し方は当てはまらないことを知っておかねばならない。

日本人が外来語や流行語を使用するとき、通常はよく使われる、或いは定着したものを使っているためか、違和感はそのな感じられない。例えば、日本の2006年度の新語・流行語大賞

を見てみると、この年間の大賞は「品格」と「イナバウアー」となっており、トップテンには、このほか、「シクシイ、脳トレ、エロカッコイイ、格差社会、シンデレラナニー、ハンカチ王子、メタボリックシンドローム」などがあげられている。これらの言葉を見ても分かるように、日本語の流行語のそのほとんどは現在も使用されている言葉で、辞書に載っているのも多いのである。その代わり、中国の場合は、日本のと少し違うように感じられる。例えば、

日本語	中国語
レジ	收款处→收银台
ママ	妈妈→妈咪
パパ	爸爸→爹地
パーティー	聚会→派对
タクシーを呼ぶ	叫出租车→叫的士→打的
お勘定	结账→买（埋）单
安売り	降价→吐血价→跳楼价

この中で、日本語の言い方の方は、中国語に比べて、比較的長く使われ、あまり変わっていないようだが、それに相当する中国語の方はご覧の通り、二つ以上の言い方が併用されている。

中国は、数十年の閉鎖的政策を経てのち、1978年代から改革開放に転じて世界に門戸を開いたが、その時を契機に、外国からも物質精神両面における新しいものが続々と中国に入ってきた。それに伴って、当然新しい概念なども入ってきた。新しい物事や新しい概念にはその名称が必要である。したがって、新しい言葉、即ち辞書にはない言葉が作り出され、もしくは導入されてきたのである。例えば、タクシーの定訳は“出租汽车”という言い方があるのにもかかわらず、“的士”となる。これは広東語の当て字であるが、そればかりでなく、“叫”という動詞も“搭（打）”にとって代われ、“搭（打）的士”も略されて、“打的”となる。また、“T恤衫（Tシャツ）”や“卡拉OK（カラオケ）”などの英文字や日本式外来語も使われるようになっていく。それから相手がかかるかどうかという問題をまったく無視した乱暴であると言えない訳し方もある。例えば、「安売り」がその例である。“跳楼价、吐血价”と訳されているが、これが安売りのことなどどのぐらいの人が分かるであろうか。このように、さまざまな言い方があるので、頭が痛くなるほどであるが、ただ、一つ分かることは、これらの言い方のほとんどは、香港か台湾で生まれたもので、中国大陸生まれではないということである。それは香港や台湾から広東を通して、中国全土に広まったものであろうと思われるが、それは中国の南のほうに先に改革開放を実施し、経済特区を作り、新しい製品、新しい技術、新しい物事を導入してきたことと深く関わりを持っているものと推測できる。しかし、“吐血价、跳楼价”などという訳し方は確かに人目を引き、はっとさせ、一時の新鮮味はあるものの、見る側の事

情を考えると、その使用はやはり慎むべきであろう。

6. 結語

以上、中日経済用語における新語の翻訳を中心に「経済用語に関する新語」「カタカナに訳される新語」「同じ漢字でも中日異なる新語」「漢文字+カタカナに訳される新語」「新語における翻訳時の注意点」について一考察してみた。翻訳の場合において中日言語表現における相違が顕著に現れているように思われる。それには言語体系の違い、母語の影響、文化や社会体制など、様々な要因が考えられる。拙論は別に翻訳論を論ずるものではなく、その期待は言語表現というものが非常に豊富なため、翻訳する際にさまざまな選択肢があるということと、その的確な言葉の選択の大切さを理解してもらうところにある。語彙が豊富ということは良いことである反面、その取捨選択、すなわちどの訳が適訳であるか、どれを選ぶかと言う問題が必ず出てくるはずである。定訳についてはもちろん尊重されるべきであるが、言葉は生きており、時代とともに変化していくものである以上、それよりもさらに良い訳が見つかった場合、また、それが社会的にも認められているのであるならば、その試みもまた大切にすべきであろう。日本語の翻訳界にも「コカコーラ（可口可乐）」「ペプシコーラ（百事可乐）」「シャンプー（香波）」「ファンデーション（粉底霜）」などのような名訳が出てくるのを期待してやまない。

[参考文献]

- 新村出編1998『広辞苑』第五版岩波書店
 相原茂編集2004『中国語学習辞典』朝日出版社
 日本経済新聞社編1999『経済新語辞典』日本経済新聞社出版社
 日本経済新聞社編1999『経済重要語』日本経済新聞社出版社
 中国社会科学院语言研究所词典编辑室編2002《现代汉语词典》外语教学与研究出版社
 余祖发 2005. 4 〈日汉新词对照〉《日语知识》
 〈中国語新辞苑〉2005. 2, 4 《人民中国》
 〈中国新語流行語〉 <http://www.e-kampo.org/newword/index.html>
 〈デイリー新語辞典+a〉 <http://www.goo.ne.jp/>

(大连外国语学院研究生、华南理工大学)